

## 研究課題名 OVF に対する VBS と BKP の治療成績の後方視的研究

### (1) 研究の概要

研究期間： 2021 年 7 月 1 日 ～ 2023 年 12 月 31 日

研究責任者： 川崎幸病院 脳神経外科 広川裕介

### (2) 研究の対象

上記期間中に骨粗鬆性椎体骨折と診断し vertebral body stenting (VBS) と balloon kyphoplasty (BKP) を施行した 74 例 (37 例ずつ)

### (3) 研究の目的

骨粗鬆性椎体骨折 (Osteoporotic vertebral fracture: OVF) に対する経皮的椎体形成術の新しいデバイスとして vertebral body stenting (VBS) が普及し、従来の balloon kyphoplasty (BKP) と比べて椎体内にステントを留置する分、局所後弯の改善やセメント漏出の回避に寄与する可能性が報告されているが、術式の優位性についてはコンセンサスが得られていない。今回、当院での VBS と BKP の治療成績を検討したので報告する。

### (4) 研究の方法 (研究に使用する試料・情報の項目を含む)

術前と術後急性期 (手術翌日)、術後慢性期 (4 週間後以降) で撮影した CT 矢状断にて、椎体の前端部 (A)、中央部 (M)、後端部 (P) で椎体高を測定し、2 群間で比較した。また手術前後の NRS の推移、局所前弯角の変化、セメント漏出など合併症の有無を評価項目とした。これらを後方視的に、診療記録を用いてデータの収集・解析を行い、安全性や治療効果について検討した。

### (5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通達などを順守し個人情報の保護に努めます。

### (6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

### (7) お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただく前にこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 病院安全管理部 (川崎幸病院 倫理委員会 事務局)  
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番 27  
TEL : 044-544-4611 (代表)